

優先版乳癌QI一覧

乳癌

1	免疫組織化学染色法にてHER-2陽性時のFISH法の施行 (旧QI番号 24)	分母: 免疫組織化学的方法で行われたHER-2の検査が2+となった乳癌患者数	分子: FISH法で評価がされた(再検も含む)患者数
2	手術患者へのSLN生検/郭清の選択肢の説明 (旧QI番号 5)	分母: Stage I ~ II (cN0)の乳癌で手術を受けた患者数	分子: SNBまたはリンパ節郭清の両方の選択肢について説明がなされ、その記載がある患者数
3	病理報告書における所見の記載 (旧QI番号 10)	分母: Stage I ~ IIIの乳癌に対して外科手術が行われた患者数	分子: 病理報告書に浸潤径、Grade(組織、または核Grade)、脈管侵襲、リンパ節転移の有無が記載されている患者数
4	乳房温存術後の放射線照射(70歳以下) (旧QI番号 35)	分母: 乳房温存術を受けた70歳以下の乳癌患者数	分子: 術後全乳房照射が行われた患者数
5	乳房温存術における術後断端陰性確保 (旧QI番号 11)	分母: Stage I ~ IIIで乳房温存術が施行されて、切除断端陰性で無い患者数	分子: 追加切除かブースト照射が行われた患者数
6	術後化学療法における適切な薬剤選択 (旧QI番号 18)	分母: 術後化学療法を受けた乳癌患者数	分子: アンストラサイクリン、タキサン、CMF、のいずれかが化学療法に含まれている患者数
7	腋窩リンパ節転移に対する術後照射 (旧QI番号 38)	分母: 乳房切除術が行われた患者で、再発ハイリスクの(T3以上、または4個以上リンパ節転移のいずれか)患者数	分子: 術後照射(胸壁±鎖骨上窩)がなされた患者数
8	術後患者へのガイドラインに沿った薬物療法 (旧QI番号 16)	分母: 乳癌手術を受けた Intermediate risk (St Gallenのコンセンサス)以上の再発リスクを持ち、浸潤径1cm以上(ただし、比較的良好組織型(ColloidとTubular)の場合は3cm以上)の患者数	分子: 以下の通りの術後療法をうけた患者数 ・ホルモン陽性ならホルモン療法を行う(閉経前ならタモキシフェン+卵巣機能抑制、閉経後ならアロマトーゼ阻害剤)、(化学療法の有無は問わない) ・ホルモン陰性なら、化学療法を行う
9	HER-2陽性転移・再発乳癌へのトラスツズマブ投与 (旧QI番号 21)	分母: HER-2陽性の転移・再発乳癌患者数	分子: トラスツズマブが使用されている患者数
10	HER2陽性、リンパ節陽性の浸潤性乳癌へのトラスツズマブ投与 (旧QI番号 22)	分母: HER-2陽性でリンパ節陽性の浸潤性乳癌患者数	分子: トラスツズマブが使用されている患者数

優先版肝癌QI一覧

肝癌

1	診断時腫瘍マーカーの測定 (旧QI番号 1)
分母: 肝細胞癌と診断された患者数	分子: AFP、PIVKA-IIの両方を診断から治療までの間に測定された患者数
2	治療前のCT又はMRIによるdynamic study (旧QI番号 2)
分母: 肝細胞癌に対して手術、経皮的局所療法、肝動脈(化学)塞栓療法のいずれかが行われた患者数	分子: CTまたはMRIによるdynamic studyがその前に行われた患者数
3	肝障害度A, 径\leq3cm, 3個以下への肝切除術/局所療法 (旧QI番号 5)
分母: 肝障害度Aで腫瘍径が3cm以下、個数3個以下の肝細胞癌患者数	分子: 肝切除術または局所療法(経皮的エタノール注入、マイクロ波凝固(PMCT)、またはラジオ波灼療法(RFA))が行われたか、行わない場合は理由の記載がある患者数
4	TA(C)E後の画像検査/腫瘍マーカーの適切な間隔 (旧QI番号 23+24)
分母: TA(C)Eを受けた肝細胞癌患者数	分子: 1年以内は、少なくとも3ヶ月毎の間隔で、画像検査(禁忌がない限り造影CT/MRI)および腫瘍マーカー(AFP,PIVKA-II)測定によるのフォローがされている患者数
5	根治治療後の腫瘍マーカー測定の適切な頻度 (旧QI番号 21)
分母: 肝細胞癌の根治治療を受けた患者数(肝切除術、局所療法)	分子: 根治術(肝切除術、局所療法)から1年以内でのAFP,PIVKA-2のいずれかが測定間隔が4ヶ月よりも短い患者数
6	分子標的薬の明確な適応 (旧QI番号 19)
分母: 分子標的薬治療が行われた患者数	分子: TA(C)E適応外または不応であることのカルテ記載がある患者数

優先版大腸癌QI一覧

1	術前の診断的内視鏡検査	(旧QI番号 3)
	分母: 待期手術を受けた大腸癌患者数	分子: 術前に診断的内視鏡検査が施行され、検査結果(腫瘍の部位、肉眼型、腫瘍の大きさ、予想される深達度(早期癌の場合)を含む)が診療録に記載されている患者数
2	cSM以深大腸癌術前の腹部造影CT	(旧QI番号 6)
	分母: 待期手術を受けたcSM以深の大腸癌患者数	分子: 術前に肝臓を含む腹部造影CT(行えない場合には他の腹部の画像検査)が施行された患者数
3	cSM以深大腸癌術前の骨盤部造影CT/MRI	(旧QI番号 7)
	分母: 待期手術を受けたcSM以深の直腸癌患者数	分子: 術前に骨盤部の画像検査(造影CTもしくはMRI)が施行された患者数
4	直腸癌患者への術後機能障害の説明	(旧QI番号 10)
	分母: 局所切除以外の手術を受けた直腸癌患者数	分子: 術後の機能障害の可能性(排便機能障害/排尿機能障害/男性性機能障害)が説明され(患者に説明できない場合には代理人に)、それが診療録に記載されている患者数
5	Stage II・IIIの大腸癌に対するD3リンパ節郭清	(旧QI番号 15)
	分母: 手術を受けた、Stage II・IIIの大腸癌患者数	分子: D3郭清が行われた、もしくは行われなかった理由が診療録に記載されている患者数
6	直腸癌手術における適切な肛門側切除範囲の確保	(旧QI番号 17)
	分母: 手術を受けた直腸癌患者数	分子: 腫瘍の肛門側縁より適切な長さの直腸間膜切離(RS、Raで3cm、Rb2cm)が行われ、腫瘍の肛門側縁から切除断端までの距離が診療録に記載されている患者数
7	Stage III大腸癌に対する術後補助化学療法	(旧QI番号 32)
	分母: 組織学的Stage IIIと診断された大腸癌患者数	分子: 術後8週間以内に標準的補助化学療法が施行されたか、もしくは施行しない理由が診療録に記載されている患者数
8	病理組織学的所見の記載	(旧QI番号 19)
	分母: 原発巣切除を受けた大腸癌患者数	分子: 以下の病理組織学的所見が診療録に記載されている患者数 (壁深達度、リンパ節郭清個数、リンパ節転移個数、脈管侵襲の有無、切除断端または剥離面における癌細胞の有無)
9	術前未検索の残存大腸への内視鏡検査	(旧QI番号 45)
	分母: 治癒切除手術を受けた大腸癌患者で、術前に全大腸の検索が行われなかった患者数	分子: 術後6か月以内に残存大腸の大腸内視鏡検査が施行された患者数
10	内視鏡的摘除後の病理所見の診療録への記載	(旧QI番号 26)
	分母: 内視鏡的摘除を受けた大腸癌患者数	分子: 以下の事項が診療録に記載されている患者数 ・病変の大きさ、肉眼型、組織型 ・pSM浸潤度の実測値 ・脈管侵襲の有無 ・水平断端 ・垂直断端における癌細胞の有無 ・浸潤先進部の簇出(budding) Grade(2010年1月以降の症例)

11	化学療法の画像診断による治療効果判定	(旧QI番号 37)
分母:	化学療法を受けた切除不能進行・再発大腸癌患者数	分子:
	少なくとも4ヵ月ごとに画像診断による治療効果判定がなされた患者数	
12	化学療法施行中の患者における有害事象有無の記載	(旧QI番号 36)
分母:	外来で化学療法を受けた大腸癌患者数	分子:
	最初の3ヶ月、毎回、医師による診察時、診療録に有害事象の有無が記載されている患者数	
13	StageⅢ治癒切除手術後の腹部画像検査サーベイランス	(旧QI番号 40)
分母:	治癒切除手術を受けたStageⅢ大腸癌患者数	分子:
	術後5年間、半年ごとに肝臓を含む造影CT(行えない場合には他の腹部の画像検査)が施行された患者数	

優先版胃癌QI一覧

1	待期手術前の診断的内視鏡検査 分母: 根治的な待期手術を受けた胃癌患者数	(旧QI番号 3) 分子: 術前検査(内視鏡検査/UGI)が施行され、検査結果詳細(肉眼型、部位、深達度)が記載されている患者数
2	待期手術前の手術リスクの説明 分母: 待期手術を受けた胃癌患者数	(旧QI番号 7) 分子: 合併症の内容とその発生率、死亡率を含めた手術のリスクが説明され(患者に説明できない場合には代理人に)、その診療録記載がなされている患者数
3	進行胃癌に対する定型手術 分母: sT1N2またはsT2-3N0-2(規約13版)の胃癌患者数(2010年以降、規約14版でcT1N1-3, cT2-4aN0-3)	(旧QI番号 14) 分子: 初回治療として定型手術が施行されている、または施行されない理由が診療録に記載されている患者数
4	pStage II/Ⅲへの術後S-1療法 分母: 胃癌に対して根治手術を受け組織学的に取り扱い規約Stage II、III(pT1を除く、2010年以降はpT1及びpT3N0を除く)の進行癌と診断され6週以内に退院した患者数	(旧QI番号 23) 分子: S-1療法による補助化学療法の選択肢が提示されたか、または提示しない理由が診療録に記載されている患者数
5	内視鏡切除前の診断的内視鏡検査 分母: 内視鏡切除を受けた胃癌患者数	(旧QI番号 4) 分子: 術前検査(内視鏡検査/UGI)が行われ、以下の事項が記載されている患者数 ・肉眼型 ・部位 ・腫瘍径 ・深達度 ・UL所見の有無
6	内視鏡切除後の病理組織学的所見の記載 分母: 内視鏡切除を受けた胃癌患者数	(旧QI番号 21) 分子: 以下のすべての事項を含む病理組織学的診断が診療録に記載されている患者数 ・深達度 ・SM浸潤度(SM癌の場合) ・病変の大きさ ・組織型 ・UL所見の有無 ・脈管侵襲の有無 ・水平断端 ・垂直断端
7	内視鏡的摘除後、適応患者への外科的追加切除 分母: 胃癌に対して内視鏡切除を受け、組織学的検索で ・垂直断端陽性、 ・脈管侵襲陽性、 ・深達度がSM2(500μm以上)のいずれかを認めた患者数	(旧QI番号 22) 分子: 外科的追加切除(リンパ節郭清を伴う)が施行された、または施行されない理由が診療録に記載されている患者数
8	化学療法の期待される効果、有害事象に関する説明 分母: 化学療法を受けた胃癌患者数	(旧QI番号 24) 分子: 期待される効果、有害事象に関する説明(本人に説明不可能な場合には代理人に)がなされ、および文書による同意署名がある患者数

9	化学療法各レジメン開始前のPS評価	(旧QI番号 26)
分母:	化学療法を受けた胃癌患者数	分子: 各レジメン開始前に以下の事項が評価されている患者数 ・Performance Status (PS)
10	化学療法の開始後3ヶ月間毎月の血液検査	(旧QI番号 26')
分母:	化学療法を開始された胃癌患者数	分子: 治療開始後最初の3ヶ月間は、月1回以上、下記の血液検査がなされている患者数 ・白血球数(好中球数を含む) ・血小板数 ・総ビリルビン、AST、ALT ・血清クレアチニン値
11	化学療法の開始後3ヶ月間の診察時有害事象の記載	(旧QI番号 28)
分母:	外来で化学療法を受けた胃癌患者数	分子: 最初の3か月間、毎回、医師による診察時、診療録に有害事象の有無が記載されている患者数

優先版肺癌QI一覧

1	Stage診断の診療録への記載 (旧QI番号 6)	分母: 肺癌と診断された患者数	分子: TNM Stageが診療録に記載されている患者数
2	PSの診療録への記載 (旧QI番号 6')	分母: 肺癌と診断された患者数	分子: 治療前にPSが記載されている患者数
3	侵襲的検査・治療前の胸部CT (旧QI番号 1)	分母: 肺癌患者数	分子: 診断過程において、侵襲的検査や治療が行われる前に胸部単純CTあるいは胸部造影CT検査が行われた患者数
4	手術以外の治療が行われる患者への治療前の病理確定診断 (旧QI番号 5)	分母: 肺癌に対して手術療法以外の治療が行われる患者数	分子: 治療開始前(緩和的放射線療法は除く)に、組織診または細胞診で確定診断が得られた患者数
5	組織型の病理所見書への記載 (旧QI番号 9)	分母: 生検検体が提出された肺癌患者数	分子: 病理診断書にWHO分類に準拠した組織型(判定不能な場合には推定組織型に言及)が記載されている患者数
6	手術所見の記録 (旧QI番号 10)	分母: 手術を受けた肺癌患者数	分子: 以下の項目が診療録に記載されている患者数(腫瘍径、腫瘍の発生部位、腫瘍の組織型、胸膜浸潤の程度、リンパ節郭清個数、郭清部位毎の転移の有無、切除断端または剥離面における癌細胞の有無、胸膜播種の有無、悪性胸水の有無)
7	肺門・縦隔リンパ節の郭清・サンプリング (旧QI番号 15)	分母: 根治手術が行われた肺癌患者数	分子: 原発巣の切除に加えて、肺門・縦隔リンパ節の郭清・サンプリングが行われてその範囲を診療録に記載するか、行われない理由が記載されている患者数
8	切除不能非小細胞癌に対する化学放射線療法 (旧QI番号 21)	分母: 臨床StageⅢ非小細胞癌(悪性胸水例または悪性心嚢水例を除く)と診断され、 ① PSO~1 ② 70歳以下 ③ 手術が行われなかった患者数	分子: 化学放射線療法が行われたか、行われない理由が診療録に記載されている患者数
9	限局型小細胞癌に対する化学放射線療法 (旧QI番号 26)	分母: 限局型小細胞癌と診断された患者数	分子: 化学療法と胸部放射線治療の同時併用が行われたか、行われない理由が診療録に記載されている患者数
10	胸部放射線治療の目的, 方法, 有害事象についての説明 (旧QI番号 33)	分母: 肺癌に対し、胸部放射線療法を受けた患者数	分子: 目的、方法、有害事象(急性障害および慢性障害)について説明がなされ、そのことが診療録に記載されている患者数
11	静注化学療法施行中の定期検査 (旧QI番号 35)	分母: 肺癌と診断され、静注化学療法(化学放射線療法を含む)を受けた患者数	分子: 初回化学療法の各クール開始前または1ヶ月に1回以上、以下の検査がなされている患者数 ・血液検査 ・胸部X線